



京丹後に棲む  
絶滅危惧種のハヤブサ

# ハヤブサ

ニュース

No. 93

2024年2月15日

## 発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

## 2024年度「総会」の位置と役割

大湾 宗則

2月25日の総会が近づいてきました。

既に会員の皆様へは「総括と方針(案)」が届いていると思います。これまでの総会議案と比べて良くなっていることに気づかれたでしょうか。そうです。私たちの闘いにとって「何が足りないのか、何が弱点なのか」について率直に指摘し反省し、克服する決意と方針が述べられているからです。

### 「反省」と大衆討論こそ大衆運動の推進力

巨大な独占資本とその政府、しかも日米安保や、日米韓「三国同盟」、NATOなど世界規模の安保同盟を組んだ資本家階級と闘っているのです。現段階で勝てるはずはありません。

一つ一つの闘いは、敗北の連続です。しかし敗北自身が悪いことではありません。

大衆運動で大切なことは歴史的闘いの継承と反省です。反安保掲げて実力で闘った復帰協(沖縄)や日本の闘いを無視し、へそ天で白旗掲げて「争いよりも愛を!」で若者を狙い、「成功した」という反省の無い人と組織は必ず墮落します。

敗北の原因を隠さず大衆討議し、反省の深さと討議に参加する仲間の広がりの中から見えるのは、結局、敗北の核心は独り善がり先人の闘いの教訓を無視したこと、団結・連帯の広がりや欠いたこと、知的欲求の不足に気付くべきです。

政府の不法な権力行使に対して「声と紙の批判」に止まらず、民衆の争議権を団結した数の力で政府に突き付けること、これらを実現する能力を鍛えることが勝利につながるのです。

### 「会」発足から反安保を掲げて10年

私たちはずっと以前から沖縄島の辺野古新基地建設に反対した取り組みを続けてきました。

2013年7月、発会のメインスローガンは「京都・沖縄・どこにも米軍基地はいらない!」を掲げて闘ってきました。これは日本中から米軍基地を叩きだすことが日米安保廃棄と同じ意味を含ま

せています。2023年度は、年間継続して「例会」で「安全保障連続講座」を取り組み、その成果は今年度の「総会」に現れています。

### 闘いの基本は、職場・地域から自国政府の戦争政策を止めること。

地元京都(京丹後)の米軍Xバンドレーダー基地と自衛隊基地撤去の闘いを踏まえて全国の仲間と共に沖縄辺野古の新基地建設反対に連帯し、さらに韓国など東アジア民衆との反安保国際反戦で共闘を作り出すことが基本です。

### 軍拡で排外を煽る日本の安保政策を阻止しよう!

政府が2022年12月に閣議決定した国家安全保障戦略関連三文書には「2027年までにわが国への侵攻が生起する場合には、わが国が主たる責任を持って対処し、同盟国の支援を受けつつこれを阻止・排除出来るように防衛力を強化する」と。日本が敵基地攻撃能力も含む「盾も矛」も備えて日米同盟の質的転換を果たすと公言し、5年間で43兆円の予算を裏付けている。

『安保関連三文書』に反対し対決する」という文言は沖縄や日本でよく耳目しますが、その方々の文言のどこにも「基地の被害と加害の原因である日米安保に反対・廃棄する」主張が見られないのは残念です。敗北の原因の核心がここにもあることに気づいてほしいと思います。

何故なら戦後、中国・朝鮮等の社会主義革命を阻止するため、日本を<反共・反革命の砦>として改造する事で日米が合意し、サンフランシスコ対日講和条約と日米安保条約が締結されました。これを根拠に日本の再軍備(自衛隊)と在日・在沖米軍があり、基地の被害と加害を担わされているのです。日米安保条約こそ廃棄です。

運営委員会の夜間時への変更が提起されています。

退職・年金生活者は支えに回り、現役労働者中心の「会」に大改造しましょう!

方針(案)P5で「現在、平日の昼間に行われている運営委員会についてはその時間帯を夕方以降に変更」と提案されています。これに賛同され、「会」を現役労働者が参加・活動し易い組織に改造し、新たな仲間を受け入れ、反戦・反基地・反安保・改憲阻止の闘いを前進させましょう!

京都・沖縄・どこにも  
米軍基地はいらない  
米軍Xバンドレーダー基地反対  
京都連絡会

# 京丹後訪問

## ・基地をめぐる状況

池田たかね



基地前・抗議アピール

### 「特別注視区域」指定、強まる監視体制

米軍Xバンドレーダー基地と自衛隊経ヶ岬分屯基地の周辺の「特別注視区域」への指定が間近に迫っている。これについて、「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」など基地周辺の住民は、国か市による住民説明会を求めてきた。それを受けて、京丹後市は2月7日に憂う会らと「意見交換会」を行い、区域指定に関する京丹後市の意見(1月31日付)を公表した。その意見は「必要以上の過度な運用により、住民に懸念や不安が生じることがないように適切な運用を確実にお願いする」としているものの、「米軍施設の立地・運用を適切・円滑に進めていく」ことを前提とするものだ。

あわせて京丹後市は、住民説明会について、「こちら(市)は国に開催を求めたが、国はやらないと言っている。国による市へのオンラインの説明会(1月12日)があったが、その資料は公表しないよう通知がきている。市としてもこういう事情で説明会を開くことはできない」としている(毎日新聞の報道より)。京丹後市の意見の公表の遅れや憂う会らとの「意見交換会」の遅れには、このような事情もあったようだ。内閣府の土地利用審議会は「区域指定」候補地の指定にあたって、その正確な範囲も公表していない。住民に直接影響が及ぶ問題にもかかわらず、その意見を聞かない政府の住民無視、秘密主義の姿勢が明らかになっている。

これまでも指摘してきたように、「特別注視区域」・「注視区域」の指定は安保強化・戦争体制づくりの一部であり、それに反対する運動への監視と弾圧の体制を強化し、平時から軍事がすべてに優先する体制をつくりだそうとするものだ。

そもそも国の「安全保障」を口実に、憲法が保障する基本的人権及び社会権(団結・争議権など)に制限を加えようとする土地利用規制法は違憲であり、早急に廃止されるべきものだ。

### 関西での戦争準備とのたたかいを

この「特別注視区域」への指定に加えて、日米韓三国によるレーダー情報の即時共有の開始など、京丹後の米軍Xバンドレーダー基地のさらなる強化に向けた動きが進んできた。今後は、自衛隊基地の「強じん化」の問題も控えている。

加えて、舞鶴のイーグリス艦への巡航ミサイル・トマホークの搭載や司令部の地下化や、それとも関連した祝園(京都府相楽郡精華町)でのミサイル弾薬庫増設など、関西での自衛隊の基地強化、戦争準備が具体化している。

また、石川県の小松基地でのステルス戦闘機F35の大量配備計画も、朝鮮半島などの情勢と関連した京丹後や舞鶴での基地強化の問題と結びついている。

政府がおし進める敵基地攻撃体制づくりの最前線でたたかう沖縄の島々の人々、全国で基地強化たたかう人々と連帯し、アジアの民衆に銃口を向ける関西での戦争準備を止める行動を広げていこう。

京丹後の米軍Xバンドレーダー基地反対のたたかいを進め、岸田政権の戦争政策をやめさせよう。

### 京丹後現地訪問案内

3月8日(金) 午前8時30分

鴨川五条大橋西詰 GS 前集合

\* 参加を予定する方は配車の都合がありますので事前連絡をお願いします。

(池田: 090-7108-5508)

# オスプレイ墜落に抗議! 辺野古基地建設阻止

今こそ普天間及び日本からオスプレイを撤去し、追加購入を中止せよ!

大湾宗則

2023年11月29日、米軍横田基地所属CV-22が屋久島沖で墜落、死者8名。

米空軍は12/6「調査によって機体の不具合で事故が起こった。原因は現時点では不明。飛行停止で原因究明を特定するための徹底した調査が必要」と報道し、オスプレイ全機種(米軍所属464機)の飛行停止を発表し、12/8にはすべてのオスプレイ生産を終了することを報じた。防衛省は陸自のMV-22 14機(17機中3機未納)を米軍に合わせて飛行停止した。

## オスプレイ飛行停止と生産終了⇒廃棄は当然

2022.6.カリフォルニアでMV-22オスプレイの墜落で5名死亡。この件で2023.7に米軍調査報告書が出され「操縦者、搭乗員に過失はない。エンジンとロータリーをつなぐクラッチの動作不良がエンジン故障を引き起こした」と発表し、「機器の交換で99%リスク減少した」ので飛行は再開する、報じられた。

米軍資料として2010年からオスプレイ墜落事故だけで15件あり、ビジネスインサイダーの報道を参考にすれば「2023年3月～2024年2月までの1年間だけでもオスプレイ墜落事故3件、ヘリ墜落6件 死者43人、負傷者40余人」の犠牲者があった。

実は2013年～2023の約9年余かけて米軍は、海軍所有オスプレイの「機体の再設計」に取り組んだがその後も墜落と死者が続出していた。もともとオートランディング不可能な構造設計こそが致命的な欠陥であり、併せてクラッチの故障という構造上の欠陥を改善できず、人命と調達費の損害を無視できなくなっていた。

(オスプレイ一機当たり1億2000万ドル約171億の調達費用に見合うかどうかも諮問されていた)。

## 危険なオスプレイは不人気 新規購入は中止せよ!

米財界及び既得権益社が大統領権限の国防権限法で生産終了に異議を申し立てたが決めるのは議会、生産再開は難しい。

当初、2007年に運用が始まったオスプレイ生産計画は約1000機、米軍約500機 海外販売約500機と予想。米軍は既に464機を世界に展開している。しかし海外販売は、NATOも韓国、イスラエル、豪州など同盟・友好国さえ1機も購入

しておらず、日本だけが17機(14機木更津駐屯地残り3機は未納)購入している。今回、飛行停止、生産終了宣言をした以上、オスプレイを運用する戦闘計画の時代は終わった。

## 辺野古新基地は、オスプレイ基地と位置付けられていたがこれが破綻するのか。否!

辺野古基地は確かにオスプレイ基地として計画されてきたが、辺野古基地の主目的は、東アジアにおける日本(企業)の権益防衛であり、海外派兵の前進基地である。仮にオスプレイ生産が終了でも大型輸送ヘリや戦闘ヘリで代替可能である。政府は強がって代執行で「辺野古が唯一」を強行してくるだろう。

しかし、辺野古新基地建設は、止められる。隆起石灰岩で出来た沖縄島で活断層がある大浦湾の軟弱地盤に7万数千本の砂杭を打ち込み、更にその上に高さ(厚さ)10m、広さ153畝の鉄筋コンクリートを載せる、こんな桁違いの重量の基地が成功させられるはずがない。現に関空や中部国際空港が毎年沈下を続けており、辺野古新基地はさらに沈下すること明らかである。

辺野古新基地建設は必ず阻止できると確信して闘いを組みなおそう。また、新基地建設と関連して日本政府が日米安保に基づいて日本列島に配備した自衛隊基地で中国を軍事的経済的に包囲し戦争挑発を行っている。私たちは、沖縄・先島・日本そして東アジア民衆と連帯して日米両軍の基地撤去を進めなければならない。

## 生産者・漁師の闘いに支援の輪…佐賀空港へのオスプレイ基地建設反対に連帯しよう!

陸自が佐賀空港内にオスプレイ配備を計画している件で、対象土地の「地権者でつくる運営協議会」は2023年5月1日、総会を開き、「184:49」で防衛省への売却を強行し、防衛局は6月13日に基地工事を始めた。これに対して「オスプレイ反対住民の会」古賀初代会長(漁師)は「これまで国策で有明海は死の海になっている」「死ぬ気で取り組む。土地は売らない」と。支える会が7/29学者、ジャーナリストなど133人で結成、8/29佐賀地裁に工事差し止めの仮処分を申し立てた地権者5人は、土地取得の歴史的経緯から地権者1人1人が土地の所有権を証す「持分証券」を保持しており、これを無視して「地権者全員の同意がなければ売却できない共有地を一部地権者(27%)の同意がないまま売却された」と訴えた。12/20には本訴を提訴した。

**速報!** かんなま弾圧一分はね返す!  
大津コンプライアンス第2次事件判決



大津コンプライアンス第2次「事件」(ビラまき事件)の判決が、2月6日、大津地裁にて畑山裁判長によって下された。

湖東の組織でコンプライアンス「事件」に関わったとされる2人の役員は有罪(2.5年と1.5年の懲役)とされ、ビラまきだけに携わったとされる労組メンバー7人は無罪とされた。

**お知らせ**

**第10期 2月「例会」のお知らせ**

2月22日(木) 18:30～  
ひとまち交流館・京都 第一会議室  
防衛予算から見る  
「関西での戦争体制準備」を暴く  
話 池田たかねさん

**第10期 3月「例会」のお知らせ**

3月28日(木) 18:30～  
ひとまちと交流館・京都(予定)  
安全保障から見たNOTOの  
イスラエルによるパレスチナ戦争  
話 大湾宗則さん

**原稿募集** お待ちしています。

今年の「総会」でも議題になるかと思いますが、「会報」の紙面を解放する、こんな当たり前のことがやっと始まります。

但し、担当者にストレスをかけないため、原稿の字数、締め切り日は守ってください。今回は3/28です。

「会報No.46号」が4月4日発行の予定です。  
原稿締め切りは3月28日です。(期日厳守)  
原稿字数600～800字 (写真一枚添付)  
「会」に対する想い、政治・社会評論、  
歴史的事件の回想・俳句・川柳・短歌・随想 詩  
四コマ漫画・小説連載などお気に召すまま

**「街なかビラ」の報告と  
今後のお知らせ** (文責 白井)

**2024年1月の報告**

**第165回 1月26日(金) 大手筋商店街 6人**

2024年最初の「街なかビラ」行動でした。冷え込みの厳しい日で若干人通りも少なかったようです。

**<街の人の声>**

- 「私も戦争準備に突っ走るのには反対です」(60代・女)
- 「備えは必要だ。軍拡競争になっても仕方ない。強いものが勝つ」(80代?男)
- 「米軍基地って沖縄の事やる?」と男子高校生3人組の一人が立ち止まってビラを。京都にも米軍基地があることを話すと「え～っ、本当に?」と3人分のチラシを受け取ってくれました。●「署名はないですか?」(60代・女)
- 「車椅子を止めてビラを受け取り「家で読みます」と丁寧に畳んでカバンに入れられた人。●京都市長選の最中だったので市長選のビラか?と聞きながら受け取る人が時々あった。



**今後の予定です**

**第166回 2月20日(火) 今熊野商店街 周辺**

集合場所:(東山)日赤病院横の郵便局前。

**第167回 2月27日(火) 四条大宮周辺**

集合場所:「四条大宮」交差点の南東。

**時間はいずれも11:00～12:00です。**

無理のない体調でご参加ください。待っています。

**連絡先:090-5672-1597(白井)**